

東久邇首相の施政方針発表に対する県民の反応 二

梅 村 郁 夫

東久邇首相の施政方針発表（一九四五年八月二八日）に対する県民の反応について、政界五人・市町村長七人の意見・感想を、四年前の『山口県地方史研究』第六四号に「東久邇首相の施政方針発表に対する県民の反応」として紹介した。今回はその続きとして、右翼四人・左翼二人・宗教家一人・事業界五人・朝鮮人二人・軍人二人・教育家二人・報道員（マスコミ）四人・農業関係四人・一般層三人を紹介する。

前回でも述べたように、八月二八日の東久邇首相の発表に対し、山口県では、治安対策の一環として県民の意識調査を実施した。この調査は治安維持法制が存続し

ている中で実施されたことと、被調査者数がわずか四人であった、という制約があることを念頭に入れておく必要がある。

しかし、この資料では「沈鬱ナル感情等ニ対シ光明ト希望ヲ与ヘラレ」たとして、東久邇首相の発表を歓迎しつつも、一方では「特高警察ノ威信ハ地ニ墜チタ」等の「特異意嚮」が看取されることや、「一億総懺悔」論に対する「戦争指導者責任」論、あるいは県民の「敗戦原因」観の形成状況も把握できるなど、敗戦直後の県民思想を理解する上で欠かせない資料といえることができるであろう。

前回紹介した政界の五人と市町村長は、いわゆる「公人」という公的な立場にあつたため氏名を記したが、今回は「私人」であるため氏名は表記しなかつた。

なお、旧字体の漢字は新字体に変え、必要に応じて句読点を補い、欠字または判読不可能の文字は□で示した。また、明らかに誤記と思われる字には、()で傍註した。ただし、誤用の箇所でも、そのまま意味が通る場合は原文の通りとした。

……前 略……

三、右翼

防府市三田尻在 聖戦完勝会員 医師

昨日新聞二首相宮御抱負ヲ御披瀝ニナツテ居ル様ダガ、私ハ先ヅ大東亞戦争ノ敗因ガ我が戦力ノ徹底的低下ニ在ツタ事ハ同感ダガ、戦力ヲ低下セシメタ主ナル原因ハ軍官民ノ離間デアツタ事ヲ先ヅ痛感スル。戦争ニ便乗シタ軍ノ横暴タルヤ実ニ言語ニ絶スルモノガアツタ。従而国

民ノ最近ニ於ケル軍ニ対スル感情ハ既ニ相当危険ノ域ニ達シテ居タ。差当り表面化シタ事象トシテハ現ハレタルモノハ無カッタガ、国民思想ノ底流面ニ於テハ反軍反戦的思想ガ極メテ急速度ニ醸成シ、最近ニ於ケル国民ノ軍ニ対スルモノハ非協力其ノモノデアツタ事ハ事実ダ。軍民相反シテ何ノ戦力増強ダ。

国内政治ニシテ然リダ。過古ニ於ケル政府ノ諸施策ガ果シテ必勝施策デアツタカ。種々統制政治ニ於テモ、之二依ル戦力ノ障害ニ著シキモノガアツタ事ニ全く傾着シナイ。政府要人ノ愚衆ニハ呆レ果テタモノダ。之モ敗因ノ大ナルモノダ。

▽新政治体勢ニ就テ

敗戦国ノ再建ト謂フ事ハ過古ノ歴史ニ徴シテモ極メテ困難ナ事ダ。日本ノ再建モ前途容易ナラザル難問題ガ幾ツモ横タハツテ居ル。就中国民総意ヲ結集スルコトハ敗戦国民ダケニ殊更至難ナ事ダ。政府ガ現在ノ愚衆ニ依ツテ皇国ノ再建ヲ計ツタ処デ無理ナ事ダ。所謂大東亞戦争

ヲ敗戦ニ導イタ指導者共ニ依ツテ再建出来ルヤ否ヤニ就イテハ敢テ論ヲ要セズ。内閣ニシテ然リ。現内閣ガ果シテ皇国再建内閣ニ相応シイ内閣デアルカ、米内ノ如キ輩ガ巢喰内閣ニ何ノ希望ガ持テルカ、何ノ再建ガ望メヨウ。帝国議会ニシテモ解散ヲ命ゼラレル前ニ辞職スベキダ。何レモ大政翼賛ノ出来ナカッタ愚衆ダ。官吏モ公吏モ総テ戦争指導者ノ地位ニ在ツタ者ハ須ク其ノ職ヲ辞スベキダ。ソシテ新シイ組織ノ下ニ新シク明朗ニ発足スル事ガ皇国再建ノ要諦ダ。此際国内ニ於ケル有凡旧来ノ積弊ヲ一掃シテ徹底的刷新大肅正ヲナスベキダと思フ。畏レ多イ、事ダガ、天皇陛下モ皇太子殿下御成年ニ達セラル、ト同時ニ皇位ヲ御譲リニナル事ト思フ。

ノ如キハ世界ニ恥ヲ曝ス様ナモノダ。又軍部政界ノ現役者ハ敗戦ノ責任ヲ負ツテ退陣スベキダ。国家ヲ此ノ頓底ニ落シテ再ビ閣僚ニ列シ居ル者モ在ルガ、自己ノ無能ヲ知ラヌモ甚シイ。施政方針ノ闡明ヨリ実践力アル若キ新人ノ出馬ヲ要望シ度イ。

旧大日本勤皇同志会中央委員

今次ノ発表ニ依リ首相宮殿下ガ余リニモ民情ニ精通サレテ居ル事ト、曾ツテ軍籍ニ身ヲ置カレ何等現状維持的色彩ナキ御模様ヲ拝察シ、感激スルト共ニ心強キ限リデ在ル。国体護持ニ付テモ全く同感デアル。尚敗戦ノ原因ニ付テモ仰セノ通りデ在ルガ、更ニ具体的ニ之ヲ批判スルナラバ、戦争指導者ノ責任デアリ、軍ノ誤算ニ依ル責任デ在ツタト云ハネバナラス。殊ニ軍部ノ戦争途上ニ於ケル専横ハ目ニ余ルモノガ在ツタ。之ハ要スルニ軍民ノ離間トナリ、敗戦ノ一大原因トナツタト云ツテ過言デハナイ。軍部ガイザ解散トナルヤ、全く無統制デ何等規律

旧大日本勤皇同志会地方委員

御言明ノ通り戦後ノ施政ハ斯クアルベシトノ感ヲ深クシタガ、敗因ノ究明ハ不必要ダ。又軍官ハ半バ公然ト民ハ密カニ闇ヲ遣ルトノ御言葉ガアツタガ、今トナツテ斯

ト謂ツタ面ハ一ツモ無イ。斯ル状態カラシテモ或ハ敗戦ハ当然デ在ツタカモ知レナイ。尚国民皆農ノ御方針ハ同感デ在ル。

次ニ言論結社ノ自由ハ既ニ運カツタト思フ。戦争途上ニ於テ今少シ民意ノ暢達ガ在ツテ然ルベキデアツタカト思フ。然シ敗戦ノ今後ハ相当言論結社ガ浮ビ上ツテ来ルト思フ。吾等ハ飽迄潜在的ニ行動シ表面上ハ民主主義的行動ヲ必然的ニ示スコトトナラウ。然シ今後吾等ノ同志トシテ国ヲ思フ一念カラスル運動ハ真ニ憂国ノ士丈トナリ、他ハ相当墮落スル事トナラウ。

次ニ議會解散ハ当然来ルベキ現象デアルガ、登場スル新人旧人中ニハ相当自由主義的色彩ノ濃ナルモノガ浮キ出テ来ルト思フ。然シ要ハ新シイ体制ヲ必要トスルモノデアルガ、之等ノ動行ハ相当注目スベキデアルト思フ。次ニ五ヶ条ノ御誓文ハ全ク我等ノ将来ニ於ケル光明デアリ、日本ノ強味デアルト思フ。暁ハ今後政府ノ支持セラル国体護持ノ一翼トシテ、運動ヲ^経統スル方針デアルガ、

未ダ具体的ニハ定マツテ居ナイ。

元東方会下関支^ヲ 進主幹

本日紙上ニ於テ首相官ノ御明示ハ、吾々が曾テ強調力説シテ来タ理念ト一致スル処デアリ、誠ニ感慨^無量デアル。敗戦ノ今日最早如何トモ為シ難イ。時ノ為政者要路ニ誠アル者ガ居タナラバ、八月十五日以前ニ実行サレタデアラウ。斯ル状態ニハナラナカツタト思フト、兎角心ノ動揺ヲ禁ジ得ナイ。之等ノ施策ガ急速ニ実施サレタトシテモ、戦前ト戦後ノ国民思想ハ間隔ガアリ、此ノ間隔ニ培養スル新思想ハ国体信仰ト謂フ純日本の感覺デハナク、極メテ米英的ニ畸形化サレタ敗戦民族ノ希望ナキ生活デアル。

首相官ハ敗戦ノ大キナ原因トシテ、政府官僚軍人ノ無自覺ト規則法律ノ濫発ガ、国運ヲ動脈硬化ニ陥入レタト卒直ニ認メラレ言明サレタガ、尤ナ事デアル。今ヤ国民ハ過古^老八ヶ年間ノ戦争ノ苦境ニアツテ、之等逆臣ノ為大

道ヲ過ツタ。誠ニ畏レ多ク其ノ罪万死ニ価スル事デアアル。

言論ノ暢達モヨカラウ。然シ再考スベキハ大和民族ノ純潔保持ヲ如何ニスルカト謂フ事デアアル。今後ノ日本ハ紙上デ見ル様ナ生優シイ事デハナイ。政府ノ諸政策モ連合軍進駐後デナケレバ適確デナイ。曾ツテノ我々同志先輩ノ殉死ハ、臣道ヲ実践シ大義ニ生キル悲壯極マル歴史ノ一頁デアアル。我々ノ云フ事ハ最早尽キタ。唯推移ヲ注視スルノミ。

四、左翼

社乙 無職

此度ノ大東亜戦争モ結局国民各自ノ力ヲ出シ渋ツタ事ト、敵米英ノ国家総力ニ対シ日本ノ総力ガ余リニ劣ツテ居ル事ガ、敗戦ノ大キナ原因デアツタト思フ。

首相官殿下ニ於カサ□□モ敗戦ニ就テ深く掘下^堀ゲテ国民我々同胞ニ告ゲラレタ処ガ在ルガ、実ニ其ノ通りデア

ル。民族ノ興亡戦ハ一時的□戦勝戦敗デハ無クシテ、悠

東久邇首相の施政方針発表に対する国民の反応 二(梅村)

久ノ苦難ニ打勝ツ事ニ依ツテ勝敗ガ決セラレルノデアツテ、興亡ノ岐路モ寧口今後ニ在ル。

社乙 公務員

首相官御明示ハ、終戦后ノ沈滞セル国民感情ニ多少ノ緩和劑タルノ役割ヲ果セルカノ好感ヲ一応考ヘルモ、已ニ今日ニ至ツテハ如何ナル善政ノ百出スルモ無為ニシテ、此ノ窮乏ニ進ミ込^込ンダ軍部ハ、国民ノ面前ニ如何ナル謝罪ヲ以テスルモ、此ノ償ハ到底及バザルモノデ在ル。政府ハ今後凡有ノ面ニ国民ニ対シテ自由ヲ考ヘテ戦後復旧ニ邁進スベキデアアル。

五、宗教家

下関市 元キヨメ教牧師

戦前カラ自分ノ觀念トシテ主張シテ来タコトガ、今日首相官様ヨリ闡明ニサレタ。

日本ニハ隆国以来八紘一字ノ大精神ニ基キ世界平和ヲ

主唱シテ来タガ、此ノ大戦争ハ軍部ガ誤ツテ強イテ米英ト戈ヲ交ヘ、其ノ結果ハ現在ノ如キ敗戦国ニ陥ツタモノデ、此ノ責任ハ軍部ノミナラズ政府及官吏ニモ在ルト思フ。自分等ノ世界平和ヲ愛好スル「キリスト教」一派コソ、真ニ八紘一字ノ御精神ニ基キ、今日ノ如キ悲惨ナ国家ニ陥リマイトシテ、平和主義ヲ強調シテ居タガ、当時ノ政府及官吏ガ独乙ノ「ナチス」ヲ模倣シ、自分等教団ニ対シ、「ヤレユダヤ思想」ダ亦反戦思想ダト、所謂邪教トシテ強硬弾圧ヲ加ヘ、遂ニ大東亜戦争ノ戦列ヨリ除外スルト云フ有様デ、反面軍部ノ如キハ公私ニ不拘公然鬪取引デ、而モ其ノ物資ハ政府ノ方針ニ副ハナイ所謂横流ト云フ有様デ、馬鹿ノ吾々デモ之デ戦争ガ勝テルカト思ツテ居タ位ヒデ、斯ル点ニ御着眼アラセラレタ首相官ノ御賢明ニハ恐縮スルガ、之ガ戦前ニ発表サレ改善サレタラ、日本ハ敗ケズニ済ンダ事ト思フト、残念デナラヌ。

六、事業界

体護持ガ今更ノ如ク知ツテ来タ。戦後諸施策ニ付テモ真ニ思フ国民ノ上ニハセラレ誠ニ有難キ極ミデアル。然シ之レガ具体化スレバ矢張り連合国側ノ諒解ヲ要スルデアロウ。吾々ノ今後モ関心ヲ持つテ居ルノハ停戦協定ノ内容如何デアアル。

厚狭郡厚狭町 日本火薬鉱業所長

軍事工場ノ停止ニ伴ヒ人的余力ガ相当浮ビ上ツタガ戦後ノ施策トシテ之ガ処理ガ第一ノ要件デ在ル。今回ノ施政方針ニハ此ノ問題ハ無カツタガ早急ニ善処策ヲ煩シ度イモノデアアル。

美祢郡伊佐町

日本石灰工業株式会社専務取締役

言論ノ暢達結社ノ自由ハ時期ヲ失シタ。戦争中ノ必要デ在ル事ハ誰モガ知悉シテ居ル事ダガ、之ガ実施出来ナイ所以ヲ知ルベキダ。又戦後ニ於ケル言論及結社ノ自由ハ少数員ノ結社ニ分裂シ、国内分裂及左翼分子ノ進出ヲ

岩国市 株式会社義済堂社長

首相官殿下ガ敗戦ノ原因ヲ卒直ニ我々国民ニ御明示サレタガ、敗戦ノ重大原因ハ対外的ニハ科学陣営ノ劣勢即チ原子爆彈ノ出現トソ連ノ参戦ト思フガ、更ニ国内的ニハ戦力低下ト国民経済道義ノ頹廢ガ重大原因デアロコトハ、何人モ否定スルコトハ出来ナイ事実デ、何ガ故ニ経済道義ガ斯ク迄頹廢シタカ、無論之ニハ各種ノ不必要ナ統制強化ノ逆効果モ考ヘラレルガ、今更之ガ責任ヲ究明シタ処デ、現実ニ迫リ来ル問題ガ好転スルモノデハナイ。要ハ誠意ト共ニ国民ガ飽ク迄皇国護持ノ精神堅持ノ下ニ凡有屈從ニ堪ヘ、御明示ノ各項ヲ今直チニ実践ニ移シ以テ皇国日本ノ再建ヲ図ラナケレバナライ。

小野田市 炭坑頭取

戦争ニ勝ツコトノミガ吾々全生命ト考ヘテ無理矢理炭ヲ掘ツタガ、敗ケタ現在将来ノ道ヲ失ツタ様ナ氣ガシテ居タ処ガ、先日首相官殿下ノ御説明デ吾々ノ新使命ハ国

推進スル結果トナリハシナイダロウカ。特高警察ノ自衛自戒或ハ行過ハ是正サルベキダロウガ、之等ハ誰ガソウサシタノダロウ。之ヲ政府ノ施政方針ノ然ラシメタルヲ自覚シ、過去ノ批判国民ニ対スル責任転換乃至ハ自慰的中訳ヲ今更必要ナク、今後ノ方針ヲ強力ニ実践スル人材ノ選定コソ急務デアロウ。

山陽無煙鉱業所長

首相官殿下ニハ新聞記者団ニ施政方針ニ対シ御抱負ヲ披瀝サレテ居ラレルガ、之ニ依ルニ総選挙ヲ実施スル旨言明サレタガ、当然ノ事ト思フ。国民トシテモ総選挙実施ヲ要望シテキル。吾々トシテハ今後コソ新シキ無名ノ熱意ノ在ル実践力ノ在ル人物ヲ議會ニ出スベキト思フ。又当然旧体ノ人物ハ淘汰スベキデアロウ。総選挙ニハ内閣モ新シイ若イ者ガ出テ貰ヒ度イ。最モ首相ハ宮様デ良イト思ハレル。現在ノ如キ大臣デハ新日本建設ニハ国民ガツイテ行クマイ。

七、朝鮮人

岩国市

今次敗戦原因ヲ御闡明ニナツタガ、我々半島人モ戦争遂行ノ為陸海軍ノ施設工事ニハ全力ヲ拵ゲテ協力セルモ、反面食糧賃金其ノ他物資等ニシテモ法網ヲ潜リ居リタルガ、斯ル状況ハ国民全体ノ実相デアツタ。連合国軍が進駐セバ、彼等ノ意図ノ下ニ自由主義国家ノ象トナリ、官憲ノ取締モ弱体化ノ虞多分ニ含マレ、国民ハオ互ニ自重謹慎ヲ要スベキデアアル。

八、軍人

陸軍少將

総理大臣宮様ノ記者団ヘノ御発言ハ恐縮ニ耐ヘナイ。大東亜戦争ノ敗因ニ付テ御述べニナツテ居ルガ、実ニ率直ニ申サレテキル。内容ノ要旨ニ付テハ我々モ平素唱ヘテキタ処ノモノガ今更責任ヲ究明シタ処デ仕方ガナイ。敗戦ノ将兵ヲ語ラズシテ之ヲ問フ事ヨリモ、一大団結スルコトヨリ外ニ方途ハナイ。反省ト団結アルノミデアアル。

帰還軍人 某

朝鮮料理業

事変以来内地デ儲ケタ金ヲ失ハヌ為、又最近朝鮮カラ来タ妻ノ希望モ入レテ、独立シタ(ソレハ如何ナル形デアツテモ)本国ヘ帰ル者ニ取ツテ、日本ノ国内事情ハ何ノ関心事デモナイ。

首相ノ宮殿下ハ、日本国民ノ名誉保持ハ詔書奉戴シ連合国カラノ条約ヲ忠実ニ実行スルコトデ在ルト、オ示ニナツテ居ルガ、今迄戦争完遂ノ為ニ身命ヲ捧ゲテ来タ吾々トシテ、連合国ニ忠実ニ示ス事ハ現在ノ処不可能デア在ル。其ノ後ノ施策ニ付テハ判ラナイ。

九、教育家

船木国民学校長

国民学校ノ教育方針モ今後国家再興上緊急且重要事項デアアル。早速ニ之ガ指導方針ヲ明示シテ戴キタイ。

教員

首相ノ宮殿下ノ御答ハ非常ニ親米的。我々教育家ハトテモ教壇ニ立ツテアンナコトヲ話ス氣持ニハナレナイ。将来教育方針モ変更サレルト思フガ、アノ様ナ教育ヲスルトスレバ、第一ニ我々ノ頭ヲ百八十度ノ転換ヲシナケレバナラヌ。又児童ノ思想ヲアノ様ニ転換スルコトハ相当骨ノ折レルコトデアアル。

サレタ様ナモノデアアル。従来日本民族ハ余リニモ軍国ニ眩惑サレテ徒ニ優越感ニ提ハレ過ギテ居タンダ。而シ日本ノ負ケタ事ニ依ツテ始メテ自身ノ本当ノ姿ヲ知ル事ガ出来タ。若モ日本ガ勝ツテ居タラ其レハ一時的ナ観心ニシテ短命ナラシムル原因トナルコトダラウ。

吾々言論封鎖ノ元締デアツタ新聞紙等掲載制限令第三条モ廃止サレタラシイ。コレカラハ自分ノ抱負ノ儘ヲ自由ニ取材シ得ル待望ノ時代新生日本ガ生レルンダ。其レハ籠ヨリ離レタ雲雀ノ如クデアアル。

西日本新聞下関支局記者

首相ノ宮様ノ御言葉ハ実ニ民心ノ心ヲ掴ンデ居ラレル。之ニ依ツテ四ヶ国モ日本ヲ信頼スルデアアラウシ、国民モ又開眼スルデアアラウ。言論ノ自由ヲ解カレタ吾々ノ使命モ又明ニサレタ。之デマタ日本民族発展ノ途ガ開カレルノダ。

一〇、報導員

朝日新聞下関支局記者

今日首相宮殿下ノ御抱負ヲ御発表サレタ事ハ、吾々国民ノ言ハントスル事又語ラントスル事ヲ、一時ニ曝ケ出

釜山日報下関支社長

国民ヲ法ノ繩デ縛リ上ゲ、カヲ出セ〜ト尻ヲタ、キ、トウ〜身動キモ取レナクナリ、戦争ニ負ケテ始メテ自分モ縛ラレテ居ル事ヲ知ツタ。今度ノ首相宮様ノ御言葉ハ今迄縛リ上ゲラレテ居タ国民ノ繩ヲ断チ切ツテ下サツタ。其ウシテ力一杯両手ヲ延バシテ働ケト云ハレテ居ルンダ。コレデ日本民族ノ本当ノ力ガ出ルンダ。

政府ノ機関紙新聞時代モ過ギ、此レカラ本当ニ国民ノ新聞トシテ再出發スルコトニナル。自分モ機関紙新聞ノ犠牲トナツタ専門報知新聞ヲ建シ、一日モ早ク国民ノ朗ラカニ働キ得ル新聞ヲ出シタイト思ツテ居ル。

朝日新聞小串通信員

新聞記事ニコンナ事ガ出ル様ニナツテハ日本モ終リデス。宮殿下ハボツチヤン育チダカラ、輔佐ノ任ニアル者ガ注意シナケレバナリマセン。殊ニ軍官就中特高警察ハ全く威信ガ地ニ墜チタ様ニ思ハレマサガ、コンナ事ハ従

来戦争ニ勝ツタメ凡有不平不満モ一応満足サセル一手段カモ解リマセン。然シ外国ガ新聞社ヲ接収シタ暁ノ報道ハドンナモノニナルヤラ解リマセン。政府モ目下思ヒ切ツテ国民ノ心ヲ明快ナラシムル方途ガアリ〜ト見エマサガ、国民ガ之ヲ如何ニ取ルカガ問題デアリマス。中流以下ハ何カ身体ノ網デモ解カレタ様ナ氣持デキマサガ、将来ガ実ニ思ヒヤラレマス。

一一、農業関係

防府市在 農業会技手

戦力低下ノ根源ニ就テ当然ダト思フ者モアレバ憤慨スル者モ少クナイト思フ。今日迄戦争完遂ノ為国民ニ対シテハ随分無理ナ又強制的ナ要求ヲシテ来タ。此ノ有凡要求ニ応ジ実ニ耐ヘ難キヲ耐ヘ来ツタガ結局敗北ニ帰シタ。此ノ一ツノ原因ハ国民ノ一人〜ニ責任ガアルト思フ。国民ノ下層階級ノ大部分ハ、政府ガ勝手ニ戦争ヲシテ勝手ニ負ケタ、今日迄ノ我々ノ苦勞ハ結局水ノ泡ダ、ト考

ヘテ居ルダラウト思フ。然シ之等ハ事情ヲ知ラナイ下級

者ニ過ギナイガ、之等ノ下級階級者ガ戦争ニ大キナ役割ヲ果シテ居ルノデアアル。我々ノ思フ所デハ政府ニ六分ノ敗戦ノ根源ガアルト思フ。然シ現在ノ様ニナツテハ致支方ナイ。今後ノ対策ニ就テ御上ニ大ナル責任ガアリ。最モ重大ナ食糧問題ガアリ。今後ノ供出米麦ニ関シテモ相当穩当ナ方法デ指導サレル事ガ必要デハナイカト思フ。ソレデナイト国民ヲ真直ニ一路進マセル事ヲ困難トナルダラウ。

岩国市 農業某

我々ハ働クコトモ貯蓄スル事モ供出モ何一ツ国家ノ命令ニ叛クコトナク御奉公シタ積リデアアルガ、御聖断ノ結果敗戦トナツタ。敗戦ノ原因ハ首相宮ノ申サレタ通り間違ヒハナイ。今後ニ於テハ国民指導ノ責任者ハ自ら反省スルト共ニ、農業尊重ノ日本ノ根本ヲ生カシテ貰ヒ度イ。国民総懺悔ハ領ケルガ其ノ内デモ指導階級ガ第一ニ受託

シテ頂キ度イ。

我々ハ民生ノ安定ノ為ニ食糧増産スルノミデ、言論ノ自由其ノ他外来思想ノ侵入ニ対シテモ嵐ハ自覚ノ前デ唯野村ニ於テ日本精神ヲ維持シタリ。今後ノ思想戦ニ耐ヘ得ルノハ農村ノミダラウ。

大津郡日置村 農業

本発表デ感じタ事ハドウニモ考ヘラレル。敗戦ノ理由ナンカ我々ニハドウデモ良イ。現在迄モ云ハレル通りニヤツテ来タノデアアル。今更敗戦云々等ハオカシイ事ダ。又農民ノ増産供出等ハ色々綺麗ナ文句ヲ並ベタ所デ之ガ具現サレル事ハドウカト思フ。過去ノ組織ニ於テモ主旨ハ民意ノ暢達トカ何トカ云ハレタガ、其ノ実権力ト重圧デアツタ。今後ノ供出モ末端ニハ相当重圧化サレルト思フ。農民ガ如何ナル時モ恵マレナイ。

山口県農業会厚生部

今後国民皆農デ大イニ食糧ノ増産ヲヤラナケレバナラナイ。第一ノ問題ハ何ト謂ツテモ主要食糧ノ増産供出デアル。食糧ノ不足ヲ招来スル事ハ当然ダト思フノデ、農業会トシテモ今迄ノ行キ方ト方針ヲ変へ、供出ニシテモ輸送ナクシテ万金ハ期シ得ナイト輸送部面ニ於テモ計画中デアル。農家モ今迄ト違ツテ充分ナ手持ヲシテ供出シ完全ニハ行カズ、直接農家ノ門先迄行ツテ供出シテ貰フ事ニナラウ。

外地ヨリ輸入ハ絶タレ、又連合軍ノ進中ニ依リ食料モ益不足、其ノ上進駐ハ何ケ年ヲ要スルカ判ラズ、此ノ間ノ食料モ農家ニ一番必要ナ牛ヲ主食トシテ提供々出シナケレバナラナイト思フ。又麦類ニシテモ連合軍ノ希望ニ依リ、今迄ノ収入ノ多カツタ禪麦等ハ収入ノ少ナイ小麦ヲ作ラスモノト思フ。畑等モ桑ヲ作ル様ニナリ農家モ色々ノ關係デ不平モ出ル事ト思ハレル。

今迄ハ只食糧ノ増産々々デ事情ハ知ラズ、日本ハ必ズ

勝ツノ一本デ指導シタノガ悪ク、其ノ実情ヲ徹底指導シ

テ来タナレバ、農家ニ於テモ闇ハ無ク充分以上ニ供出シタ事ト思フ。農具ニシテモ生活必需品ニシテモ、皆商人側ニ於テ主要食糧等ト交換デナケレバ入手出来ズ、農家モ全ク苦勞シテ居タ。

一二、一般層

船木町 大工某

首相宮殿下ニハ軍官半バ公然ト民ハ密カニ闇ヲ為スト仰セラレテ居ルガ、良ク真相ヲ申サレテ居ル。巷間デハ闇ノ順位ハ軍、官、顔、民等ノ段階ガ取沙汰サレテ居ル。軍ハ戦争ノ為ダト云ツテ国民ノ物資ヲ根コソギ動員シ、官ハ特ニ配給物資ヲ左右シテ居ル。オ役人ハ物資ヲ抜取、此ノ間ヲ繞ツテ所謂顔役ト称スル街ノ有力者ガ良イ事ヲスル。一番惨ナノハ無力ナル一般民デアル。要スルニ物資ノ偏在ガ甚シイ。之デ果シテ戦争ニ勝テタカ。皆ガ平等デアリ共ニ苦楽モ分チ逢ツテコソ戦争ニ勝テルノデア

ル。巷間百姓ノ道義地ニ落ちタリト云ハレテ居タガ、一人百姓ノミデナク一億総テガ道義ガナクナツテ居ル。今コソ我々ハ聖旨ヲ克ク奉戴シ一億総懺悔シ以テ犠牲者ヲシテ新タナル前世ノ轍ヲ踏マナイ様ニ期待スル。

船木町 理髮業某

首相宮殿下ハ新聞紙ニ最近ハ道義地ニ落ちタリト仰セラレテ居ルガ全クデ在ル。戦争遂行中樞ヲ為ス軍隊内デモ真ニ正直デアリ忠勇ナルモノハ兵隊ノミデ、将校ト名ノ付ク者ハ殆ド職業的デ在リ売名のデアル者ガ多イ。

兵士ニ対シ休暇ヲ遣ルカラ酒ヲ心配シテ来イト命ジ、大酒ヲ呑ンデ気分ガ悪イト謂ツテハ今日ノ演習取り止メト勝手ホーダイノ事ヲ云フ。之ニ反シ兵士ガ気分ガ悪イカラ作業ヲ休マセテ呉レト頼メバ、懶者ト云ツテ欧打スル。之等ハトリモノホサズ陛下ニ対シ大不忠者デアル。最近敗戦ニ拍車ヲ掛ケベキ行為デアル。真ニ忠勇ナルモノハ兵士ノミデアリ、将兵ハ兵隊商売トノ職業的悪名ヲ

称ヘラレテ居ルノモ、上ニ立ツ者ノ道義ガスタレタ証左デアル。

余リニモ軍一天張りデ在ツタノデ、心ナキ将校ガ己ガ権横ニ依リ自己ヲ忘レタモノニ外ナラズ、軍服ヲ脱イダ今日総テガ懺悔スル好期デアル。

川棚村 漁業

将来ノ食糧問題ハ今迄デモ相当困難デアツタ。之ニハ無理ガアツタト仰セラレテ居ルガ、供出ニハ大キナ影響ヲ与ヘマス。今迄ノ如ク供出ノ残リヲ食フノデナク、食フタ残リヲ供出スルト云フ結果ニナルノデハナイカト心配シテ居マス。

純忠ノ士ハ此ノ世ニ生キテ居ル事ハ不快ダト、結局大東亞塾等ノ如キ結果ニナルノガ当然カトモ思ヒマス。

(国立国会図書館蔵『旧陸海軍関係文書』R二二二)